

関西鋼業 株式会社

事業内容

石材・コンクリート・アスファルト切断用ダイヤモンドソー基板、食品切断用刃物、金切用・木工用丸鋸、紙切用丸刀、スリッターナイフなど、各種機械刃物の開発・製造・販売

主要生産設備

レーザ加工機、連続炉・中型炉・大型炉・高温雰囲気炉・焼戻炉等熱処理炉、ロータリー研磨機・水槽研磨機・バーチカル研磨機、万能研削盤・内径研削盤・円筒研削盤、歪入れ測定器・側面振れ測定器

所在地 〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-54
TEL 06-6409-1541
設立 昭和13年8月
代表者 代表取締役 棕本 光雄
従業員数 27人（平成28年3月現在）
資本金 7,000万円
E-mail info@kansaikogyo.com
URL http://www.kansaikogyo.com



同社の強み

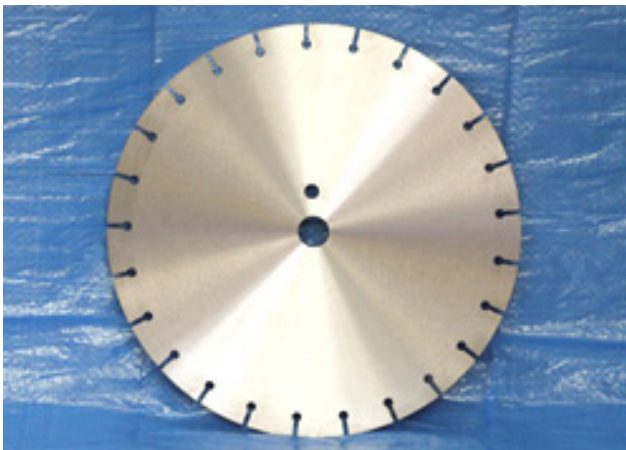
時代の変化に対応する元気な会社

「切る」技術を切磋琢磨し 新たな分野を開拓

「切る」技術にこだわって78年、切れ味、耐久性などに優れた、高機能、高品質の刃物を、成型から熱処理、研磨工程まで一貫して自社製作しています。特に、最大直径2200mmまで焼入れ可能な熱処理設備は、全国でもわずか数社有するだけで、他社が真似できない独自の熱処理技術を培い、当社の競争力の源泉の一つとなっています。また、研磨技術についても、ミクロン単位の超小物、薄物の精密研磨をこなし、顧客のあらゆるニーズに対応する技術力を培っています。

従来からの「刃物製造」に加え、近年では「刃物を搭載した各種機械設備の製造・販売」活動に取り組み、氷市場向け「アイスカッター」を完成させました。従来のバンドソーによる氷の切断と比べ、安全性が高く、生産効率も向上、また、ステンレスSUS材質を採用することにより、錆に強く、耐久性にも優れた省力機械の決定版であると自負しております。コスト、精度に優位性を持つカッティング技術や研磨技術を活かし、IC関連部品カッターやシリコンの研磨関連分野の事業化に取組んでいます。当社の技術や強みを活かして、新たな分野においても、顧客にとって魅力的な製品を提供したいと思っています。

代表取締役
棕本 光雄氏



ダイヤモンドソー

POINT
2

受注・生産情報の集約と 製造のコントロール

メーカーからの受注情報と社の中間製品在庫、生産情報を速やかに突合し、当日中に納期回答している。

いつ、何を、どれだけ作業できるか、作業日報や在庫リスト等の蓄積された情報を標準化し、営業担当者が見やすい状態にして製造をコントロールする仕組みを築いている。



面振れの測定